



竹の子川柳会

- どあをひくすずしいかぜとこんにちらは
小学校一年生
- 白いくもぶかぶかうかぶわたのふね
小学校四年生
- 目の前でさなぎがチヨウにへんかする
小学校四年生
- さなぎから変身するよアゲハチヨウ
小学校四年生
- ボール投げおもいボールはたいへんだ
小学校五年生
- お引っこし友達別れ手紙書く
小学校五年生
- こんにちはね言で言った暑い夜
小学校六年生
- 竹刀引く相手の小手に剣伸ばす
小学校一年生
- 変声期大人近づく第一歩
中学校一年生
- テスト前変更聞いてみな跳ねる
高校一年生
- 変な所みんなあつての人だから
高校二年生
- 好奇心興味という海舟浮かべ
高校二年生
- 何事もねごとを言わず全力で
高校三年生

ひよし川柳会

- 赤ちゃんが出来たニュースで村が湧き
大崎 五葉
- あとわずか見事人生御陰様
熊本 忠貞
- おしゃべりが地域のニュースまき散らす
川添 忠昭
- ときばきと指示を与えて頼もしい
水野すみこ
- 後始末までもてきばき仕事好き
宮川 柳酔
- 前科何犯みたいな顔の免許証
山本 節
- 家族写真歴史を語り夢託す
宇都宮 忍
- 見事過疎空き家有りますいい移住
若宮 賢敬
- 梅煮梅干しジャムと見事に出来配る
菅原 由紀
- 異常高温見事に真っ赤日本地図
兵頭 好子
- 縦横の絆見事な過疎の村
兵頭チヨカ
- 美人じゃないが花嫁姿見事です
木村 貞子
- お見事と誉めてもらってやる気湧く
中城 英雄
- 思い出が宝の山となる老後
渡辺 光男

鬼北の足跡をたどる【第3回】



史跡等妙寺サポーターの会 始動

七月三〇日(土)、史跡等妙寺旧境内サポーターの会 第一回の学習会を行いました。

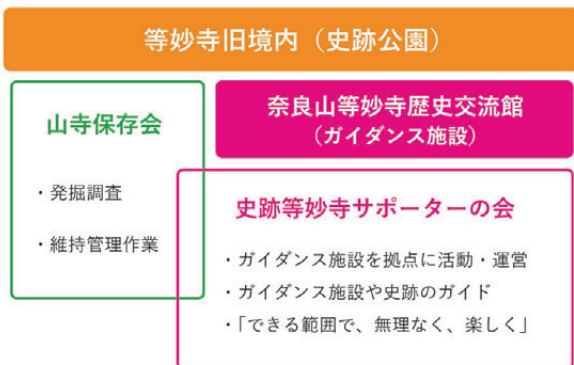
史跡等妙寺サポーターの会は、令和六年春のオープンを目指すガイダンス施設「奈良山等妙寺歴史交流館」を拠点に、史跡を守り、活用するサポーター(史跡のファン)として「できる範囲で、無理なく、楽しく」活動する団体です。

そもそも等妙寺旧境内とは何なのでしょう。できるだけシンプルに答えると次のようになります。

「いつ」↓今から七〇〇年前の鎌倉時代の終わりころ、「どこ」↓西南四国最高峰の山々が連なる鬼ヶ城連山のピークのひとつ、郭公岳(一〇一〇m)北麓に、「誰が」↓淡路出身の理玉和尚が、「何をどうした」↓等妙寺を開いた、「なぜ」↓中世天台仏教改革を全国展開するため。

聞き慣れないワード「中世天台仏教改革」とは何だろうと、新たな疑問が湧いてきますね。学習会ではこうした素朴な疑問に答えながら進めていきます。

第一回の学習会を終え、様々な反省点もありますが、みなさんと模索しながら「無理なく、楽しく」を基本に活動したいと思えます。



▲史跡等妙寺サポーターの会概念図